



あなたと町政をむすぶ

議会だより

第48号

令和6年
(2024年)

2/1

あんど



スポーツでのまちづくり、スポーツ施設の維持管理を目指し
和歌山県上富田町へ議員派遣を実施しました。

令和5年12月定例会

審議案件、議会のうごき	P 2
委員会報告	P 3
一般質問(6名の議員が一般質問を行いました)	P 4～8
議員派遣研修報告	P 9
議員表彰、勤労感謝訪問、次回の定例会予定	P 10

令和5年12月定例会

11月30日から12月13日までの14日間で開催しました。

審議案件

	議 案	会 議 結 果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度安堵町一般会計補正予算（補正第8号）について）	満場一致承認
議案第1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第2号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第3号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第4号	安堵町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第5号	安堵町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第6号	安堵町一般廃棄物等管理事務所の設置及び管理に関する条例の制定について	満場一致可決
議案第7号	安堵町公民館条例を廃止する条例の制定について	満場一致可決
議案第8号	安堵町立同和対策集会所設置条例を廃止する条例の制定について	満場一致可決
議案第9号	令和5年度安堵町一般会計補正予算（補正第9号）について	満場一致可決
議案第10号	令和5年度安堵町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（補正第2号）について	満場一致可決
議案第11号	令和5年度安堵町水道事業会計補正予算（補正第1号）について	満場一致可決
議案第12号	【追加議案】安堵町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第13号	【追加議案】企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第14号	【追加議案】職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第15号	【追加議案】安堵町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	満場一致可決
議案第16号	【追加議案】令和5年度安堵町一般会計補正予算（補正第10号）について	満場一致可決
選 挙	安堵町選挙管理委員及び補充員の選挙	指名推選
		※当選者は10頁に掲載
発議第4号	「新西和医療センター」の機能充実等に関する意見書	満場一致可決

議会のしごき

31日	18日	5日	1月	21日	13日	11日	7日	5日	4日	12月	30日	16日	13日	11月		
第2回予算概要説明会	第1回予算概要説明会	編集部会	第3回議会だより	編集部会	第2回議会だより	本会議（閉会）	議会運営委員会	編集部会	第1回議会だより	文教厚生常任委員会	総務産業建設常任委員会	（一般質問）	本会議	本会議（開会）	議会運営委員会	議案事前説明会

委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 増井 敬史

12月5日、総務産業建設常任委員会を開催し、岡崎地区の開発について慎重に審議した。

【報告概要】

1 岡崎地区の開発に伴う税収と普通交付税の関係について

物流センターの建物は令和5年に竣工したため、令和6年度から固定資産税が課税される。敷地は令和3年度から固定資産税を課税している。企業誘致促進策として、5年間の固定資産税の2分の1を減免している。

税収増額と普通交付税の関係は、税収額の75%が基準収入額とみなされ、その額が普通交付税から減額される仕組みであるが、税の実収入額と普通交付税の合計は約25%増額することが理解できた。

2 町道について

かしの木台から開発地区への町道について、警察協議において町道として「通り抜けできない道路は一般車両が利用できないので町道認定の廃止の指導があった。」

現状町道には認定されているが、供用開始をしていないので一般車両の通行制限をしている。道路用地の購入をするよう企業側に交渉しているが、交渉は難航している。

結論として、町道認定の廃止はせず、町有財産使用届を進出企業より提出してもらい、日常の管理を条件に使用許可を出すことにする。

敷地の南側から北側への町道の通り抜けができない。通過交通が増加するという理由であるが、地元住民が通れるよう交渉を継続してほしい。

3 調整池の管理について

工事中は施工業者が管理をしていたが、開発許可の条件に基づき調整池の最終仕上げが完了後は安堵町に寄贈することになっている。

寄贈後、町が管理することを確認した。

4 進出企業の雇用状況について

現在3社稼働しており、パート従業員合計16名が雇用されている。近日中に入居する企業がある。

以上、岡崎地区の開発に伴う懸案事項について説明を受け、活発な質疑が行われ認識を共有することができた。

文教厚生常任委員会

委員長 福井 保夫

11月30日の本会議で付託された案件について、12月7日、文教厚生常任委員会を開催し、慎重に審査した。

【報告概要】

○議案第6号 安堵町一般廃棄物等管理事務所の設置及び管理に関する条例の制定について

条例制定の目的は、令和6年度末のまほろば環境衛生組合が整備される廃棄物運搬中継施設の竣工を見据え、将来にわたり、一般廃棄物を円滑かつ適正に収集・運搬・処理・処分を行うため、住民の利便性の向上を図り、ごみの減量化・再資源化に取り組みとともに、災害時に発生する廃棄物にも対応でき、より一層衛生的で安心なまちづくりを図る

ためである。

施設の名称は安堵町一般廃棄物等管理事務所、位置は安堵町大字笠目326番地の1、業務区分は集積場及びストックヤードである。

令和7年に完成予定である。ごみ等の持ち込み処理については、今後検討していくこと。

〔全会一致可決〕

○議案第8号 安堵町立同和対策集会所設置条例を廃止する条例の制定について

各委員の質疑が行われた。集会所は令和6年度に解体するため、予算要望をする予定である。

〔全会一致可決〕

子供及び子育て世代対策特別委員会報告

委員長 浅野 勉

本特別委員会で、中学校の制服について多年にわたり論議があったが、令和6年度の新入生からブレザー着用に変更されることが決定した。今後も順次の学年で着用が増えて来る計画である。



働き方改革 について



ふくい やすお
福井 保夫

問 この一年間の退職・休職者の状況について伺う。

答 総合政策課長 退職者は7名、休職者は2名であり、いずれも病気休暇である。メンタルヘルスに関わる症状については、医師の意見を参考にしながら、復職に向けた支援に取り組む。

問 元気に復職できるようにお願いし、職場環境を整える取組について伺う。

答 奈良県の会議の整理内容を参考にしながら、業務の効率化及びメリハリのある仕事の遂行を啓発すると共に互いに挨拶とコミュニケーションを行い、風通しがよく、明るく創造的で、生産的な職場環境の構築を図っていく。

問 人員の配置等、副町長の役目が重要と思われる。

答 副町長 採用後6か月は条件付き採用ですので、適性を見極め配置している。「ほうれんそう」(報告・連絡・

相談)に加え、「お・ひ・た・し(怒らない・否定しない・助ける・支持する)など」コミュニケーションがとれる職場環境を整備していく。

福井 女性目線も加えた職場環境づくりをお願いする。

安堵小・中学生の 授業以外の体験学習 について

福井 全員の体験は、いろいろされているようだが、他町でもされている「こども議会」「模擬選挙」「一日こ

ども町長」「こども自転車大会」等を実施し、将来に役立ててほしい。

部活動の広域的な 地域移行について



福井 奈良市は有識者による検討会を始めた。安堵町も他町に呼びかけ、検討会を始めたい。また、子供達がクラブ活動が出来るよう努力をお願いしたい。

かしの木台 農業公園について

問 今年度は何を植えたか伺う。

答 事業課長 パパイヤ、アボカド、シャドークイーンを植え、パパイヤだけ10月末に4個収穫された。



福井 今後、人数が増えれば町からの補助・支援を増やしてほしい。来年度は、体験学習の一環として、小学生に定植から収穫まで通した体験を実施させてほしい。

答 教育委員会と相談し、実施に向け努力する。

介護保険料の引き下げについて

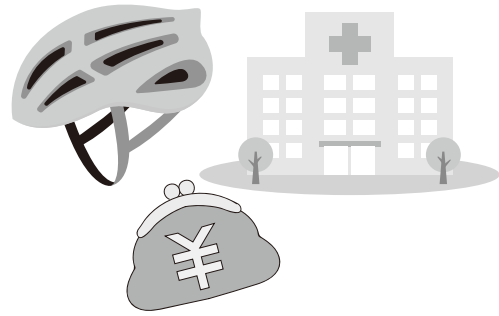
問 2000年に創設された介護保険制度は、広く住民に定着し超高齢化社会を支える土台となっている。来年度、第9期(3年間)の事業計画が策定されようとしている。介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善が求められている。中でも、近隣市町村より高い(基準年額で斑鳩町より1万51200円、三郷町より62400円、平群町より1万90000円高い)安堵町の保険料を引き下げられないか。

答 健康福祉推進室課長 西和7町の保険料については、それぞれの算定において影響する条件が異なるので、なぜ当町より低いのかを特定するのは困難である。第9期の介護保険料については、介護保険運営協議会により将来的な展望をふまえ、第9期介護保険事業計画に沿ったサービスと保険料、介護予防の必要性等を慎重に審議いただき決定していきたいと考えている。

問 公的年金がこの10年間で、実質6・7%下がり、物価も高騰、高齢者の生活は非常に厳しくなっている。介護保険の過去5年間の実質収支は赤字であり、介護給付費準備基金が1億2500万円ある。必要以上の基金を積み立てておく必要はない。この基金を活用できないか。

答 将来に渡り介護保険制度を継続していく中で、いろいろな事情により急遽、資金が必要な時に使うのが基金の目的になっている。ご理解をお願いする。

上林 協議会の中でしっかりと議論し、負担軽減について努めていただきたい。



自転車用ヘルメットの購入補助について

頭部に致命傷を負っており、自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要となる。警察庁が2023年7月に実施した全国の自転車用ヘルメット着用率を見れば、愛媛県が1位で59・9%、奈良県は8・3%となっており、町内でもヘルメット着用を見かけるようになったが普及には、まだまだ時間を要するものと推察される。

ヘルメットの購入費用の一部補助については、奈良県内では令和5年度当初の時点で3団体がすでに導入しており、当町においても人命にかかわる重要なことと認識し、西和警察と調整をはかり、周辺自治体との足並みも考慮しながら来年度予算で対応していきたいと考えている。

問 自転車に乗るすべての人のヘルメット着用が、努力義務(本年4月)になった。ヘルメットを着用していない場合の致死率は、着用時の2・4倍(2023年交通安全白書)ヘルメットを購入する時、費用の一部を補助できないか。

答 非常に前向きなご答弁ありがとうございます。自転車用ヘルメットは1個3000円から6000円ぐらゐのものが多く、購入は家計にとって大きな負担となっている。4人家族なら基本4個要る。

自転車用ヘルメットの購入助成制度の方向性についてお伺いします。

答 議会での予算のご可決が必要だが、安堵町においても、西和7町の動向も見ながら、現在制度設計中であり、全年齢を対象にしたいと考えている。補助額についても、購入金額の2分の1で、上限は2000円から3000円の間で制度設計していきたいと考えている。

問 最後に町長から自転車用ヘルメットの購入助成制度についてお伺いします。

答 町長 小さな町村は、予算規模がせい弱だと思つ。御党としても、県に予算措置を講ずるよう努力していただきたいと思つ。

上林 都道府県単位で自転車用ヘルメット助成制度を実施しているところも増えてきている。そのように要求してまいりたいと思つ。ありがとうございます。



うえばやし かつみ 上林 勝美

運動部活動の 地域移行状況は？

陸上部、スケートボード部の新設を 検討委員会の設置を要望



まつだ まさる
松田 勝

**地域移行を目指す
ための検討委員会
設置が必要**

問 具体的な休日の部活動移行のためには、早期の検討委員会設置が必要と考えるが、今後のスケジュールについてどのように考えておられるか。

答 教育推進課長 具体的な移行スケジュールについては、まだ明確に定まっていないが、

地域クラブ活動の裾野の拡充・活性化に努め、令和7年度には検討委員会の設置が出来るよう努力していきたい。

**指導者の確保と
その待遇はどうす
るのか？**

問 指導者の確保及び、その待遇について、今後の取組内容を伺う。

答 令和6年度に奈良県が人材登録バンクの設立を考え

ているのでその活用も考えている。また待遇については町として考慮する必要はある。



**部活動の新設も
視野に入れる必要**

問 陸上部、スケートボード部など個人競技のスポーツを中心に活性化を図る必要があるのではないか。

子ども誰でも通園制度の将来像は 保育士制度の抜本的改革が必要

**育児の負担軽減に
もつながら**

問 安堵町としての考え方、取組方法を伺う。

答 子ども家庭推進室課長

現在、国においても制度について検討されているところである。同じ年頃の子ども達がふれあい成長していける。保護者は孤立感、不安の解消につながることを考えている。現在、全国でモデル事業として実施されている結果を見つつ検討していく。

**保育教諭の確保が
最重要課題**

問 保育教諭の確保について何か対策があるのか。

答 事業実施の際には保育教諭の確保が必要になる。奈良県保育人材バンク等を活用しながら人材確保に努めたい。

松田 奈良県ではまだ制度化されていない地域限定保育士制度の活用、保育補助者の業務拡大等、保育士制度の抜本的な改革が必要と思われる。検討をお願いする。



答 スケートボードはオリンピック競技となり、盛んに行われていることは認識している。今後の検討課題とする。



もりた ひろやす
森田 裕康

こども園の紙おむつの 無料配布を・敬老のつどいに 祝い品の配布を

こども園の、紙おむつの配布及び廃棄の状況について

問 三宅町では、感染症予防のため、使用している紙おむつの廃棄は幼児園で行い、交換には幼児園で購入したおむつを使用している。こども園での、おむつの配布及び廃棄の状況について伺う。

答 子ども家庭推進室課長 紙おむつについては、各家庭で用意し、送迎時に各教室の個別ロッカーに必要分を保護者が補充している。使用済み紙おむつは、排尿、排便は子どもの体調を表す指標の一つとして、各家庭に持ち帰り処分している。健康状態に変化があれば保育教諭から連絡帳へ記載しており、おむつ交換も1日5回程度あり、園児毎に仕分けることは、業務が多くなるから、本年8月から使用済紙おむつは園で一括処分している。



問 職員の負担軽減及び感染症の予防のため使用済紙おむつは園で一括処分されているとのことであるが、三宅町では、毎月子ども1人1800円、年約120万円の予算で一括購入し使用している。

答 職員の負担の軽減、感染症予防などメリットがあり、保護者から苦情はないとのことであった。今後紙おむつの無料配布は考えているか。

答 子どもによって紙おむつの種類により肌に合わないものもあること、安堵こども園に通園していない子どもとの不公平が生じる等の理由から各家庭でおむつを用意していただきたい。

森田 1人に1800円、年間120万円。お金のいることだが、感染症予防、職員の負担軽減のためにも実現を期待している。三宅町は、町長の一声で決定したとのこと。西本町長の決断を期待する。

敬老のつどいに、 祝い品の配布を

問 敬老のつどいにお祝い品がなく、さびしかったとの声を聞いた。また車のない人などは参加したくても、できないとの意見も聞く。来年度はお祝い品を配布される予定はあるか、事前に予約をして送迎する予定はあるか。

答 健康福祉推進室課長 現在はお祝い品等の配布はしておりません。来年度は、敬老のつどいに参加された方に対して、記念品の配布を検討している。参加の交通手段であるが、コミュニティバスや地域公共

交通タクシーを使用しているだけだ。令和6年度からは新規事業で「安堵町高齢者タクシー利用料金助成事業」を実施する予定であるので、利用していただきたい。

森田 お祝い品については、前向きに考えているとのことであり期待している。タクシー以外にも地区内で同乗するとか、町の車両を使用するとか、いろいろな方法を考えていただき、一人でも多くの方が参加できるように期待している。



公共諸施設の点検・統廃合 検討委員会設置へ

— 公共施設の維持管理を強化 —



もり ひとみ
森田 瞳

また、入居者の高齢化を配慮したエレベーターの設置や維持管理計画についてどのように考えているか。

答 事業課長 平成11年の公営住宅の耐震予備診断では、工事診断不要との結果だったが、当該施設は建築後46年経過している建物であるため、あらためて耐震診断や入居者が高齢化している状況も鑑みて、エレベーターの設置や、改修、取り壊し等も含めた公営住宅の長寿命化計画を策定し、国の補助金の活用を視野に入れ、検討してまいりたい。

問 入居されている一軒ごとの実態把握に着手調査していかねばならないこととあり、そのためには、緊急的に優先して取組む対策室を配置する等、職員を配置する組織化が必要と思われるが如何か。

答 町長 各自治体が、共同浴場、町営住宅、その他の問題に取組んできている。安堵町においては、同和対策特別措

置法制定後ほぼ問題が無いというところで今日に至っている。遅ればせながらであるが、この問題に取組む必要性を私も痛切に感じて、早急に諸施設の改修、統廃合を調査し得る**検討委員会を設置する。**また、地元の協力や議会の協力がなければ無理な課題であるので、それを踏まえて事業を進めてまいりたい。

森田 その他の公共施設の耐震化、改修、統廃合等も視野に入れて、議会で構成する専門的な特別委員会を設置し、積極的に検討と推進を図っていくべきと考える。

「公共施設等合理化 推進検討特別委員会」 を設置

議長 森田議員から、本件について協議を進めていくために、全議員で構成する「公共施設等合理化推進検討特別委員会」の設置について必要性を重視し、全員「異議なし」で当該委員会の設置が決定した。

広告掲載の収入で 財政健全化を



ますい けいじ
増井 敬史

ページの有効活用も考慮して平成23年度から実施しており、ホームページにて募集しているところである。本町が証明類を発行した際にご使用していただくために用意している封筒については、掲載する事業者が負担して封筒を作成して本町に納品している。

問 財政健全化の取り組みの一環として、企業等の広告を広報安堵や封筒に掲載し広告収入を得る取り組みをしてはと考えるが、この提案に関してお伺いする。

答 総合政策課長 ご提案いただいた広報等への広告有料掲載だが、地元事業者等の育成及び振興を図るため、本町ホームページに「広報安堵への広告掲載のご案内」として募集している。

ホームページへのバナー広告有料掲載についてはホームページ

封筒への掲載は、本町では募集していないが、事業者のご意向により自己負担で作成していただいているので、町にとっては財政負担が生じていないことは、財政健全化の観点から一助となっていると考えている。

増井 現状広報安堵には民間企業等の広告が掲載されていないが、以前の広報安堵には税理士事務所や婚活支援の広告が掲載されていた時期があった。

大阪府柏原市の広報には裏表紙1ページ全面に広告が掲載されている。財政健全化の観点から広告収入を得る取り組みをお願いする。

問 安堵町公営住宅、特に最初に公営住宅が建築されて45年経過した。耐震補強の実態は如何か。

議員派遣研修報告

視察議員代表 福井 保夫

1 目的

スポーツでのまちづくり、スポーツ施設の維持管理及び部活動の地域移行などについて視察を行う。

2 期日

令和5年10月23日(月)

3 場所

和歌山県西牟婁郡上富田町
上富田スポーツセンター

4 視察内容

上富田スポーツセンターの管理棟で、事業振興課長より説明を受けた。

昭和63年に観光施策として「総



上富田スポーツセンターの芝生グラウンド

合運動公園を建設し、参加する観光を推進する」と明記し、ふるさと創生事業の1億円でスタートした。

平成7年に上富田スポーツセンターを開設。平成29年に一般社団法人を設立し、管理運営を委託している。

プロ・アマの他、日本代表チームが合宿している。田辺・白浜に宿泊しても、10%の手数料が入る。

若い世代が近隣から移住し、住民税が10年で20%増えている。今後は県外からの移住が増えるよう努力している。令和2年からは健康寿命日本一を掲げ、介護予防推進協議会と連携し様々な事業に取り組み高齢者にも住みよい町である。

部活動の地域移行は、月1回会議を開き地域の受け皿が整った部活から地域移行を行っていく予定。

5 感想等

野球場・スポーツサロントレーニングジム・多目的グラウンド・室内イベント広場等を視察。素晴らしい人工芝・天然芝である。その他の施設として、雨天。ヒッチング場・テニスコート・球技場・芝生広場・クラブハウス・研修棟がある。

最後に、安堵町の遊水地に芝生の野球場・球技場ができる事を祈り願って、視察報告とする。

視察議員代表 増井 敬史

1 目的

災害への危機意識を高め、いざという時の防災対応能力の向上を図るため研修を行う。

2 期日

令和5年10月24日(火)

3 場所

和歌山市消防局防災学習センター

4 視察内容

各学習項目について消防局担当者から説明を受け、体験をした。

①フロアマップ「紀伊半島の地図と南海トラフ地震の津波について」

②プレート活動と地震「日本におけるプレート、海溝型地震と直下型地震について」

③災害体験シアター「風水害編と地震被害編の視聴」

④津波ハザード「南海トラフ大地震が発生した場合の和歌山県下の各主要都市の発生後の到達時間と高さのシミュレーションについて」

⑤初期消火体験「てんぷら鍋火災の消火方法と消火器の正しい使い方」

⑥煙避難体験「煙発生装置の中を避難の姿勢等の体験」

5 感想等

和歌山県においては、南海トラフ大地震に対する危機感が奈良県に比べ大変高く、津波の発生に関してシミュレーションにより被害想定が実感できた。

日頃の防災学習が大切であり、風水害のみならず大規模地震への備えが必要であることを再認識する研修となった。

この研修で得た経験を地元での防災・減災の取り組みに生かせるようにする。



南海トラフ大地震が発生した場合の津波ハザード

選挙管理委員及び 補充員の選挙結果

選挙管理委員及び補充員の選挙
(指名推選)を行った結果、新たに
次の方々が当選されました。

安堵町	選挙管理委員
小池 博 氏	
宮本 晴生 氏	
田井 秀昭 氏	
中川 皓一 氏	
安堵町	選挙管理委員補充員
谷川 博一 氏	
中 寧 氏	
島田 好 氏	
大門 喜信 氏	

石川県穴水町へ寄付

令和6年能登半島地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

安堵町議会議員全員の想いにより、奈良県がカウンターパート支援を行う石川県穴水町へ能登半島地震により被災された方々を支援するため、令和6年1月11日に10万円寄付いたしました。

議員発議

○発議第4号 「新西和医療センター」の機能充実等に関する意見書

提出者 福井 保夫
全会一致 可決

「新西和医療センター」の機能充実を要望し、地方自治法第99条の規定により、奈良県知事へ意見書を提出しました。

地域医療を担う新病院の設置にあたり、広く快適な環境のもと治療を受けることができる環境整備を図ることは勿論のこと、特に左記の機能充実等を図るべく、「新西和医療センター整備基本計画」へ反映されることを強く要望します。

記

- 1 分娩を含む周産期医療体制の一体的整備
 - 2 小児二次救急体制の充実
 - 3 医療・介護のオンラインによる情報連携をはじめとした地域包括ケアシステムの整備
- 令和5年12月13日
奈良県安堵町議会
提出先 奈良県知事
(一部要約)

安堵こども園 勤労感謝訪問

いつもありがとうございます ございます!



安堵こども園青組のみなさんと記念撮影



花束と手作りの作品をいただきました!

生駒郡各町 優良議会議員表彰

永年特別表彰	山岡 敏 議員
特別表彰	浅野 勉 議員
一般表彰	増井 敬史 議員 松田 勝 議員

受賞おめでとうございます

次回の定例会(予定)

- 2月 議案事前説明会
- 16日 議会運営委員会
- 26日 第1回定例会本会議(開会)
- 3月 本会議(一般質問)
- 4日 一般会計予算審査特別委員会
- 5日 特別会計等予算審査特別委員会
- 7日 総務産業建設常任委員会
- 8日 文教厚生常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 本会議(閉会)
- 15日
- 22日